



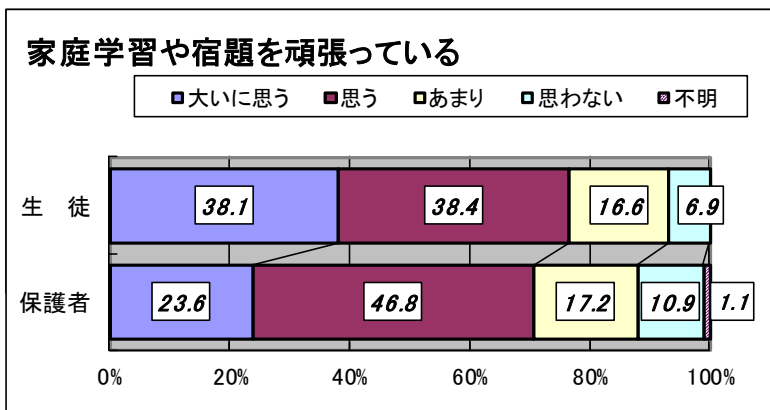
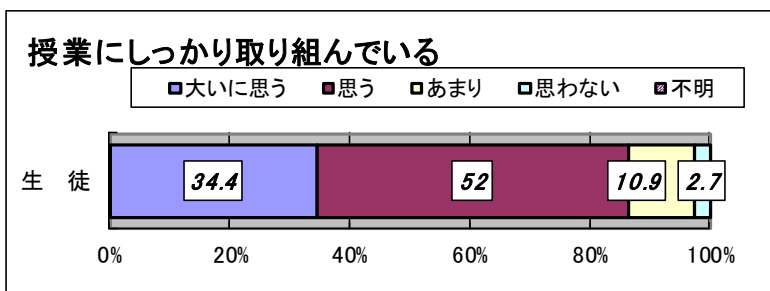
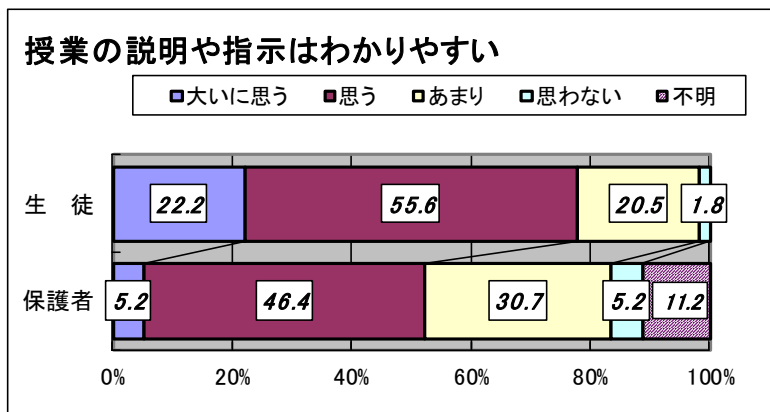
・愛川町立愛川中原中学校
 ・愛川町角田210
 ・TEL (286) 2710
 ・発行責任者 中村 正
 ・編集責任者 波塚 浩司
 ・2016. 3. 11 (臨時号)

『27年度学校評価結果と28年度の学校づくり』

生徒・保護者の皆さまにご協力いただきました、アンケート結果の概要につきまして報告いたします。また、この結果等をうけての28年度の学校づくりに向けた基本的な考え方等を併せて載せさせていただきます。アンケートのご協力ありがとうございました。

なお昨年度に引き続き、互いの参考にするとともに、より一層の小中連携の推進を図っていきたいと考え、アンケートの一部について、高峰小学校・中津第二小学校・愛川中原中学校で共通の設問を設けています。共通の設問は以下の通りです。

「授業のわかりやすさ」「家庭学習」「学校の楽しさ」「きまりやマナー」「挨拶」「家庭での生活習慣」



〔学習や授業・家庭学習〕

・「授業のわかりやすさ」について肯定的な回答の生徒が昨年比7%増の78%、「授業に楽しくしっかり取り組む」も昨年より10%増の86%となっています。授業改善を重点課題として取り組んだ成果があらつつあると考えます。

・同様な設問に小学校の保護者では約85%が肯定的な回答になっており、本校の保護者の回答なども踏まえ授業改善は引き続き本校の大きな課題だと考えています。

・「家庭学習」について生徒の肯定的な回答は昨年と同程度ですが、保護者の肯定的な回答は13%増となり、小学校の保護者と同程度となっています。家庭学習の習慣化は小・中学校共通の課題として今後も連携して取り組んでいきます。

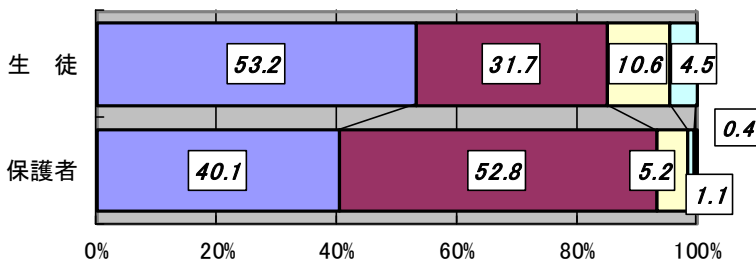
〔28年度に向けて〕

○アクティブ・ラーニング（自ら積極的に学ぶ）をテーマに授業改善に向けた校内研究の充実を図ります。

○学力の定着に向け、N-basicや朝テストに引き続き取り組みます。これらを良いきっかけとして家庭学習がより自発的に行われるように働きかけをしていきます。

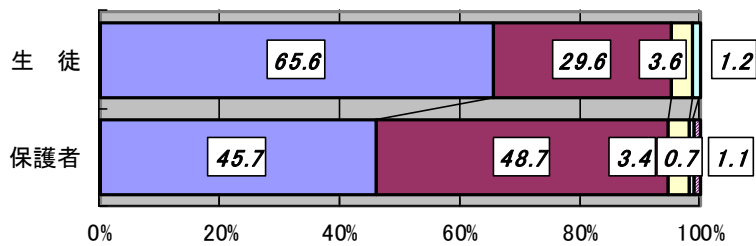
学校に楽しく通っている

■大いに思う ■思う ■あまり ■思わない ■不明



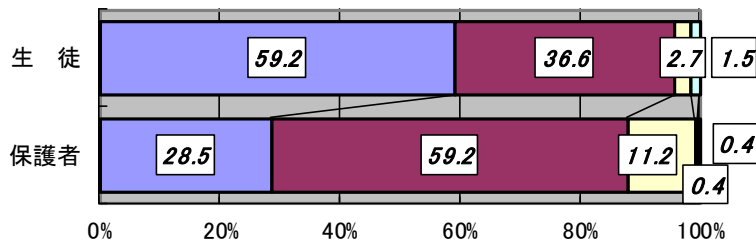
きまりやマナーを守っている

■大いに思う ■思う ■あまり ■思わない ■不明



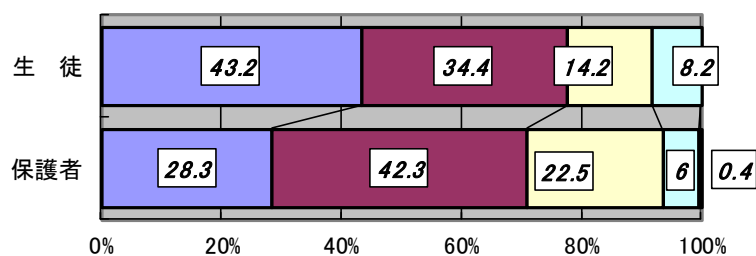
あいさつをしっかり行う等礼儀正しく生活して

■大いに思う ■思う ■あまり ■思わない ■不明



規則正しい生活をしている

■大いに思う ■思う ■あまり ■思わない ■不明



〔学校生活や学校の諸活動〕

・「学校に楽しく通う」の設問には生徒の約85%、保護者の93%が肯定的な回答となっており、昨年比3%増となっています。

・「きまりを守る」の設問には生徒保護者とも95%がしっかり守っていると回答しています。

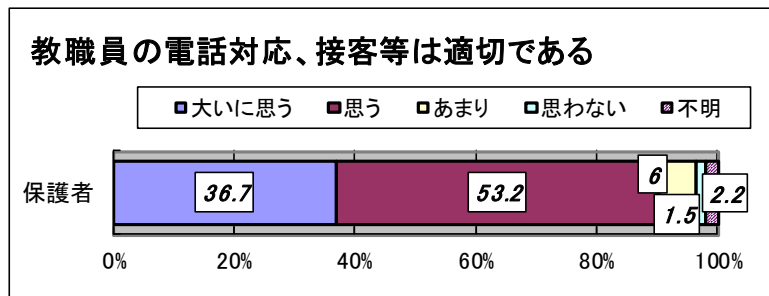
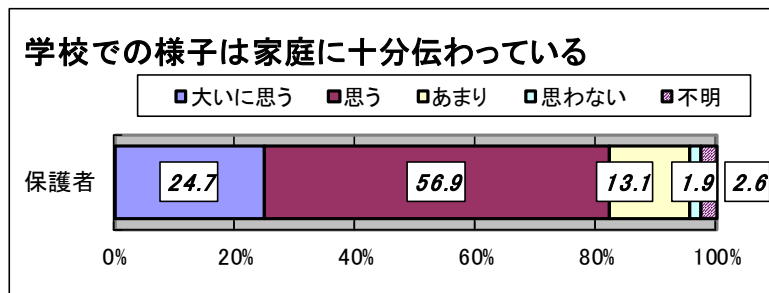
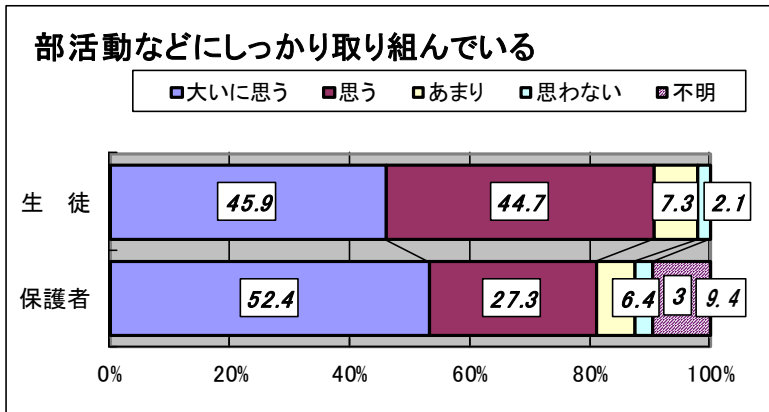
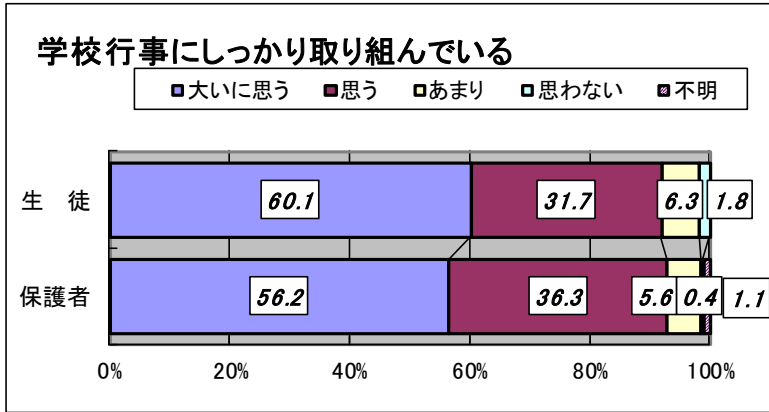
・「挨拶など礼儀正しく生活している」についても生徒は95%を超えています。小学校でも同様な傾向となっています。

・挨拶について肯定的意見が昨年比3%増となり、同様な傾向となっています。引き続き、校内だけでなく家庭や地域での挨拶など社会の中でできてこそ本物であることを機会をとらえて生徒に訴えかけていきたいと考えます。

・今、学校は大変落ち着いていますが、生活に関するアンケート結果からもその点が伺えます。家庭での生活習慣として「規則正しい生活（早寝・早起・朝ご飯）」の設問での肯定的意見は昨年比7%増の78%となっています。ちなみに小学校では、81%となっており、小中ともに他の項目よりは低い数値となっています。

・「学校行事」の設問には、生徒、保護者とも90%以上が肯定的な回答をしています。中学校の大きな行事として体育大会、文化発表会があります。特に本年度は開校30周年として、頑張っ取組む生徒の姿が随所に見られました。

・「部活動」の項目は91%の生徒が肯定的な回答になっており、昨年比7%増となっています。保護者の肯定的回答も高くなっています。技術的なことだけでなく、挨拶や礼儀など、人が社会で生活する上で大切な事柄を生徒たちはしっかりと学んでいます。



[28年度に向けて]

○学校が楽しいと思えない生徒が割合の多少ではなく存在している点について常に意識していく必要があると考えます。各種調査・検査を活用して生徒理解に努めていきます。

○引き続き、一人ひとりのニーズにあった支援を進める一方で、生徒たちが安心して過ごせる学校づくりを推進していきます。

○今年度「地域連携・ボランティアカード」を作成しました。これは、地域も含む各種活動に生徒たちがより積極的・意欲的に取り組むことを狙いとしたものです。次年度は本格的に活用を図っていきます。

[学校と家庭・教職員]

・「学校での様子」の項目について肯定的な回答が前年比-3%となっています。一人ひとりの生徒のご家庭とはきめ細かく連携がとれている反面、学校全体の様子がまだまだ時宜を得て伝えられていないと考えます。

・次年度は、家庭・地域との連携や学校だよりや学校ホームページを活用した情報発信により積極的に取り組んでいきます。

・「教職員の電話対応等」に関する設問では90%の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。前年より若干増えています。

・一方で厳しい意見も寄せられています。電話対応や接客などは一回一回が勝負であり、生徒の良き見本になれるよう機会を捉えて全教職員で確認していきます。

※記述でいただきましたご意見には、「教科指導など学習に関すること」「学校と家庭の連携・小学校と連携に関すること」「教職員のあり方に関すること」「学校の施設・設備や安全に関すること」など、良い評価をいただいたもの、改善を要するものなど、多くのご意見をいただいています。また、女子のキュロットスカート・カバンなど指定品についても多くの意見をいただきました。参考にさせていただくとともに、学校づくりに活かしていきたいと考えます。

◆学校評価関係者会議より◆

アンケート結果やいただいた意見、教職員の教育活動等の評価・反省、それを受けての学校づくりなどについて、学校教職員とは別の立場で様々に学校に関わっていただいている方からご意見をいただく機会として、学校評価関係者会議を2月24日（水）に開催しました。

本校では、学校長に学校経営のアドバイスをする学校評議員の方と、保護者代表としてPTA本部役員の方に参加をいただきました。そこでの主な意見等を紹介いたします。

- ・アンケート結果を見ると、生徒と保護者の回答の違いが目立つ。例えば、授業のわかりやすさについて肯定的な回答が生徒に比べると保護者が20%以上低い。実際に授業の様子をいつも見ているわけではないことなども影響していると考えますが、保護者向けのアンケートのとり方にも工夫があると考えます。
- ・小中の違いで言えば、年間での授業参観の回数や参加者数の違いもある。また中学での学習内容が難しくなっている影響もあると考えます。
- ・「学校に楽しく通う」の点で、評価のまとめにもあったが、人数の多少でなくやはり気にしていく必要がある。この点では一人ひとりの生徒の気持ちの把握努力を学校では常にしていって欲しい。
- ・学校では「心のつぶやき」「教育相談週間」など把握のための取り組みをしており、また生徒を支援するための会議を毎週何回も開催しているとの説明があった。説明を聞くと安心する部分がある。全ての保護者にこのような取り組みなどを十分に説明していくことが大切だと思う。
- ・先生方も若い先生が増えてきている。ベテランの先生の良さを伝えたり、先生どうしが互いにカバーしあう雰囲気が益々大切になってくると考える。
- ・学習面では校内研究を通じて授業改善に取り組み、少しずつ成果も上がっているとのことであるが、この点も大いにPRしていくべきと考える。
- ・今までの話に共通するが、例えば中学校のホームページに魅力を感じない。もっと日頃の学校での様子がわかるように、学校だより等も含めて改善をしていくことが、学校の良さを伝える第一歩と思う。
- ・まずは先生方が楽しいと思える学校ではないと、本当の意味で子どもたちが学校を楽しんでいると思えないと思う。頑張っていて欲しい。

◆28年度の学校づくりについて◆

なにごとにもしっかり取り組む生徒の育成

- (1) 生徒が元気に過ごす学校づくりをめざします 元気プロジェクトの推進
 - ・生徒一人ひとりに十分に目を向け、日常の生徒とのふれあいや教育活動を通して、生徒が自ら課題に立ち向かい、自分の良さを伸ばしていけるよう支援の充実に取り組みます。
- (2) 生徒が根気よく学ぶ学校づくりをめざします 根気プロジェクトの推進
 - ・生徒が学ぶ意欲を持ち、基礎的・基本的な知識・技能を身につけるとともに、思考力・表現力など、身につけた知識を活用する力を伸ばしていけるよう授業改善に取り組みます。
- (3) 生徒のやる気に満ちた学校づくりをめざします やる気プロジェクトの推進
 - ・学級活動や学校行事、生徒会活動、部活動などを通して、生徒どうしが関わり合い、互いに伸びていく、やる気に満ちた温かく安心できる集団づくりに取り組みます。
- (4) 生徒の本気を支え、連携・発信する学校づくりをめざします 本気プロジェクトの推進
 - ・小中連携、中高連携、保護者や地域との連携の強化を図るとともに、生徒の良さや学校の良さを積極的に発信していく中で、保護者や地域に支えられる学校づくりに取り組みます。

○保護者の皆さまには、アンケート全結果といただきましたご意見を踏まえた学校としての具体的な考え方や取り組みを配布させていただきます。「子どもにとって」という視点を常に持ちながら、よりよい教育活動を推進すべく努力してまいります。今後ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。